

特集：新型コロナウイルス PCR 検査

巻頭言

先月の巻頭言でお話しした通り、今月マルマ全社員の新型コロナウイルスのPCR検査を実施し、全社員陰性であることを確認しました。今後は全社員月2回のPCR検査を実施し安全を確認していきます。そこでPCR検査について少しお話しします。

まずマスクミでよく云われているPCR検査の「検査精度70%」についてです。この数字がどこから出てきたのか定かではありませんが、大変誤解を与えていると思っています。PCR検査は、一定量の検体の中に一定量以上のウイルスが存在すれば、ほぼ100%の確率で検出できる検査なのです。（検体の状況により結果に影響することはありますが）ですから、ウイルス量が一定量以下の時、つまり検査機器が検出できるギリギリか、それ以下の時、ウイルスが存在するのに陰性と出ることがあると云うことなのです。マスクミの報道は、あたかもPCR検査そのものの精度が70%しか無いかなのような印象を与えてしまっているのではないかと感じています。

そして検査頻度の問題です。「好きな時に何度でも無料で検査できる」が良いという意見と「必要な人に必要なだけ検査する」という意見とで論争がありますが、現状として私はそれぞれに問題があると思っています。「好きな時に何度でも」の代表がNYだと思いますが、実際、検体を採取しても検査数が多すぎて、結果が出るまでに2週間以上かかることもあるそうです。これではあまり検査の意味がありませんし、頻繁に検査する人としらない人がいることも対策としてはどうかと思います。さらに税金ですから平等であるべきです。そして「必要な人に必要なだけ」の場合は、「必要なだけ」受けられないという問題です。やっとな必要な人の範囲は決まってきたと思いますが、いまだに医師が必要だと認めてもすぐに検査が受けられないことが多々あると聞いています。無料で何回でもはやりすぎだと思いますが、やはり検査体制を整えて、必要な人には迅速に検査が受けられる体制は必要だと思います。

まだまだ新型コロナウイルス対策には、解決しなければいけない問題が多くあると思いますが、国には次の流行に備えて、スピード感をもって対応していただきたいと思います。そしてマルマはスピード感をもって安心と安全をお届けするために、ノロウイルスに続き「マルマ全社員は新型コロナウイルスフリー宣言」を致します。

(雅)

新型コロナウイルス PCR 検査

9月2日に新型コロナウイルス感染症の国内の累計感染者数が7万人を超えました。この先、感染拡大の第3波、第4波が到来することも懸念されており、依然として警戒が必要な状況です。

新型コロナウイルス感染の有無を調べる代表的な方法がPCR検査になりますが、お客様のご要望にお応えし、弊社でも7月中旬より検査を開始しました。そこで今回のM-TECインフォメーションでは、新型コロナウイルスのPCR検査についてご紹介します。

新型コロナウイルスの検査法の比較

新型コロナウイルスの検査は、「PCR検査」「抗原検査」「抗体検査」の3つが主なものとして挙げられます。

	①目的	②採取する検体	③調べる対象	④特徴
PCR検査	現在、感染しているかどうかを判定	鼻咽頭ぬぐい液 唾液	コロナウイルスの 遺伝子配列	ウイルスの検出感度が高い
抗原検査	現在、感染しているかどうかを判定	鼻咽頭ぬぐい液	コロナウイルスの タンパク質	検査結果が出るまでの時間が短い が、検出には、一定以上のウイルス量が必要
抗体検査	感染歴の有無を判定	血液	体内に入ったコロナウイルスを認識する抗体	感染症流行の全体像を把握することができるため、疫学調査に用いられる

PCR検査に用いる検体は、鼻咽頭ぬぐい液と唾液の2種類があります。個人での採取が可能で、医療従事者への感染のリスクなく検体を採取することができることから、現在は唾液を用いた検査が主流になっており、弊社でも、唾液での検査を採用しています。

※ 発症から9日以内の検体

(厚生労働省 無症状者の唾液を用いたPCR検査等について より引用して作成)

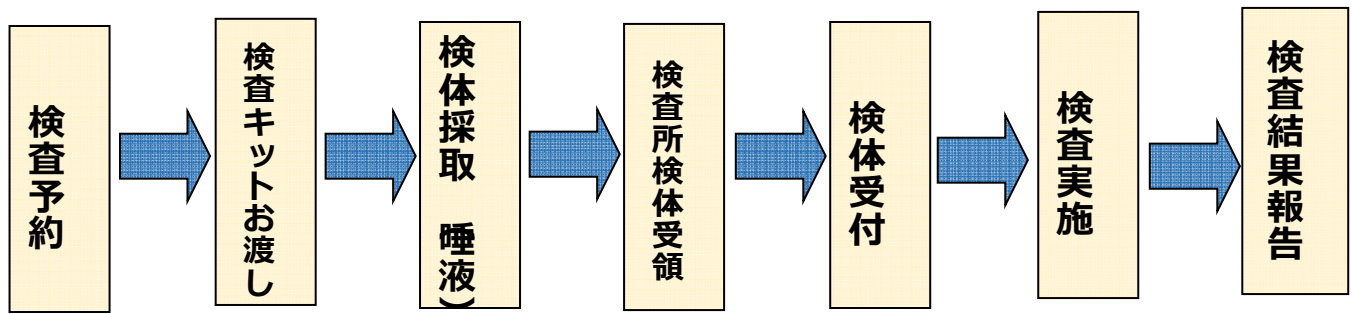
検査の対象者	PCR検査		抗原検査(簡易キット)	
	鼻咽頭	唾液	鼻咽頭	唾液
有症状者	○	○ [※]	○	×
無症状者	○	×⇒○(7/17より)	○	×

PCR検査承認当初、無症状者の検査は鼻咽頭ぬぐい液のみとされていましたが、7月17日より、上の表で示すように無症状の方に対しても唾液を用いた検査を活用できることとなりました。

新型コロナウイルス PCR 検査の注意点

- ① 37.5度以上の発熱のある方および咳などの自覚症状のある方は、保健所に相談をお願いします。
- ② 検査成績書のみでは医師の診断が必要な陰性証明書にはなりません。
- ③ 陰性の結果は、感染していないことを保証するものではありません。

新型コロナウイルス PCR 検査の流れ



【検査予約】

弊社まで電話、またはメールにて検査をご依頼ください。

必要なお客様情報	申し込み時の打ち合わせで決める内容
①事業所名、ご担当者様名	①検査結果希望日
②ご住所	②検体受付日
③ご連絡先電話番号とメールアドレス	③検査キットお渡し日
④検査容器のお届け先ご住所	④検査予定数
⑤検査結果連絡先	
⑥検査成績書郵送先ご住所	
⑦請求書送付先ご住所	

ご依頼後、ご連絡先のメールアドレスに検査依頼票と検査実施者を入力する名簿のエクセルデータをお送りします。容器お渡しまでに検査依頼票の記入と検査実施者名簿の作成し、弊社までメールで送付ください。

【検査キットお渡し】

申し込み時に打ち合わせた日時に弊社検査所にて直接お客様に容器をお渡しします。

【検体採取】

採取容器に、検体（お客様唾液）を採取してください。採取した容器にお客様のお名前を記入した専用ラベルをつけてください。

※ 検体採取 1 時間前から飲食・歯磨き・うがい・マウスウォッシュなどの使用は避けてください。



【検査所検体受領・検体受付】

申し込み時に打ち合わせをした日に弊社検査所まで検体をお持ちください。当日分の受付締め切りは AM11:00 までに検査所着分とさせていただきます。AM11:00 以降は翌日受付扱いになります。

【検査結果報告】

検査期間は、検体受付日から 3 営業日（日曜・祝日を除く）以内を予定しています。検査完了後、ご指定の連絡先に検査結果を報告いたします。その後、検査成績書を発行・郵送いたします。

マルマコロナフリー宣言

マルマ全社員は、毎月 2 回新型コロナウイルス PCR 検査を受けています。
マルマ社員が感染源にならないような対策に努めておりますので、
安心して作業をお任せください！

害虫獣紹介

ハサミムシ類

不快害虫として知られるハサミムシ類には、翅のある種類がいます。その翅の折り畳み方が日用品から人工衛星用太陽電池パネルにまで応用できるとの期待で研究が進められているという、意外な一面を持つ虫でもあります。

生態

ハサミムシ類は、ハサミムシ目に分類される昆虫の総称です。体長は10~30mmほどで、暗褐色や赤褐色の細長く扁平な体をしており、尾には外敵に襲われた時に威嚇や攻撃をするためのハサミが備わっています。活動時期は主に4月から10月で、代表種のヒゲジロハサミムシは日本全国に分布し、落ち葉、ゴミ捨て場、朽木、床下、石の下など日の当たらない暗く湿気のある場所に生息しています。食性は雑食性で、ダンゴムシや蛾の幼虫のような小さい虫や植物を食します。昆虫の中では珍しく、母親が卵を保護し孵化するまで見守ります。



写真 ハサミムシ目の1種
Dermaptera sp.

被害

黒光りする体や尾にあるハサミは不快感や恐怖感を与えます。尾にあるハサミの力は強く、挟まれると出血することがあります。毒虫のような印象がありますが、毒はありません。また、扁平な体のため隙間があれば侵入することから、異物混入の原因にもなります。

対策

扉の開放厳禁の徹底、建物の外壁の隙間をコーキング等で封鎖する、もしくは建物の外周に忌避性の粉剤や液剤を散布することで屋内への侵入を防ぐことができます。また、生息場所である落ち葉の除去や朽木を撤去することで、より侵入の可能性を下げる事ができます。屋内に侵入したハサミムシ類の駆除には不快害虫用のエアゾールを使用するのが効果的かつ安全です。

食中毒情報

今月は、件数としてはカンピロバクター、患者数としては病原性大腸菌を原因とした食中毒が最も多く発生していました。カンピロバクターは、ほとんどが飲食店で提供された食品が原因となっていました。焼き鳥などの鶏料理で、不十分な加熱調理が原因になっているケースが多く見られます。タタキやレバ刺しなどは、カンピロバクター食中毒の原因になりやすい食品になります。肉類は、中心まで十分に火を通して提供して下さい。

11月頃までは細菌性食中毒が発生しやすいため、食品の十分な加熱や温度管理に注意をお願いします。また、7月から買い物袋の有料化が始まり、エコバッグの利用が増えています。このエコバッグの中に食品由来の汚れなどが付いて菌だらけになっていることが懸念されています。エコバッグ利用の際は、定期的に洗ってバッグも清潔に管理して下さい。

全国食中毒発生状況 (8/14~9/14 新聞発表分等)

原因物質	事例	感染者数
カンピロバクター	9	43
サルモネラ属菌	6	97
アニサキス	4	5
病原性大腸菌	3	159
不明・その他	8	38

『ひとつ、ふたつ…快適環境を生み出します』

MARUMA M/TEC
株式会社 **マルマ** エムテック衛生検査所

メールアドレス: info@maruma-ec.co.jp

本 社	／ 〒430-0807 浜松市中区佐藤 2 丁目 5-11 TEL: (053)464-6400 FAX: (053)465-4120	名古屋支店	／ 〒496-0027 愛知県津島市津島北新開 234-2 TEL: (0567)69-4080 FAX: (0567)69-4081
東京支店	／ 〒194-0005 東京都町田市南町田 2-15-14-402 TEL: (042)850-6454 FAX: (042)850-6456	大阪支店	／ 〒555-0032 大阪府大阪市西淀川区大和田 3-5-6 TEL: (06)6475-6550 FAX: (06)6475-6567
静岡支店	／ 〒422-8046 静岡市駿河区中島 960-1 TEL: (054)202-0210 FAX: (054)202-0220		